

## 毛細血管血流観察装置を開発し、健康状態の見える化に挑む

あっと株式会社 大阪市中央区

あっと株式会社（代表取締役：武野 團<sup>だん</sup>氏）は、毛細血管血流観察装置「血管美人」の開発を行うベンチャー企業である。「血管美人」の使い方は至って簡単。左手薬指の爪の生え際に専用のオイルを塗り、光源で照らされた円筒形カメラの下にかざすだけで、毛細血管や血流の様子をモニターに映し出すことができる。体を傷つけることなく、リアルタイムに観察できる点に強みがある。

「血管美人」の誕生は2001年、事業家でありアイデアマンでもあった武野社長の父が、自身のがん罹患をきっかけに開発した血流観察装置が原型である。その後「血管美人」と名付けて装置を販売したところ、テレビ番組をはじめ複数のメディアで取り上げられ話題となった。

2009年、闘病の末に他界した父の遺志を受け継ぐ形で、武野社長はあっと株式会社を設立。これまでに国内のドラッグストアや美容サロン等の他、シンガポールや台湾等でも海外代理店を通じた「血管美人」の販売実績を持ち、販売開始以来現在までの販売台数は2,000台を超える。

「そう遠くない将来、病院で血圧を測るような感覚で、血流観察を日常的に受ける日が来るかもしれない」と語る武野社長。同氏によれば、冷えや不定愁<sup>しゅうそ</sup>訴（体がだるい等の身体的な異変があるものの、検査をしても明らかな原因がわからない症状）に悩む人は、毛細血管のねじれや太さ、その周辺の細胞外液の濁り等に一定の傾向が見られるといい、また日々の体調によっても血流は変わるとのこと。ただし現在までに、毛細血管や血流と健康状態との関係は科学的には解明されていないのが実情である。

こうした中、同社は2013年に大阪市のイノベーション創出支援補助金を受けて、大阪大学大学院医学系研究科との共同研究を開始。不鮮明な画像

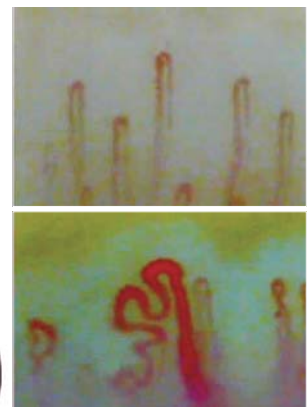
からでも、複雑な形状をした毛細血管の長さ・太さ・面積を自動的に計測し数値化するアルゴリズム（機械的な計算手法）を開発した。これにより、今まで目視が中心であった情報が客観的なデータとして収集されれば、将来的に生活習慣病の早期診断や、客観的・科学的な根拠に基づく予防法の開発等につながる可能性がある。

同社は現在も、複数の大学との間で共同研究を実施し、毛細血管や血流と健康状態との関連性について調査を続けているという。

「病気ではないが健康でもない状態を東洋医学で『未病』というが、血流観察で『未病』を発見できれば、いち早く対処できるのではないか。これは亡くなった父の想いでもある」と話す武野社長。「今後、科学的な解明がさらに進めば、血流観察を従業員の福利厚生の一つとして企業に提案することも視野に入れたい」と夢を語る。

（太田宜志）

理想的とされる毛細血管像（右上）、太くねじ曲がった毛細血管像（右下）、「血管美人」（左下）



### あっと株式会社

〒541-0042  
大阪府大阪市中央区今橋2丁目2-17  
今川ビルディング3F  
TEL: 050-5876-8563  
FAX: 06-7632-3188  
URL: <http://kekkan-bijin.jp/>



武野 團氏